

美容部員のカウンセリングコンテスト決勝大会を開催

花王

花王ビューティブランドスカウティング(KBBC)は、ブランドごとに最高峰の美容部員を選出する「KBBC BEAUTY PARTNER AWARD 2022」をブランド別コンテストとして開催し、10月5日に決勝大会、翌10月6日に表彰式を実施した。



今回の「KBBC 共感力・おもてなし」というテーマのもと、美容部員としてのスキル向上を目指した。決勝大会には、KBBCのカウンセリング会社として、約3年ぶりのリターンとなった。約550名の中から予選で選出された54名の代表美容部員が、各ブランドの代表として出場し、ブランド別で競い合った。大会のコンテストは「ブランド最高峰美容部員の輩出」を掲げ、ブランドごとの個性を表現する世界観・価値観・提案力といったカウンセリング力の向上と、専門力・コミュニケーション力の強化を目的とした。また、大会開催を通じて美容部員の成長を促進し、一人ひとりの個性を最大限に引き出すこと、そして、美容部員一人ひとりの成長が顧客の満足につながることを目指した。

花王の化粧品事業は、2018年より推進している新成長戦略のもと、約30ブランドを中心に個性ある「強いブランドづくり」を進めている。2021年から事業パートナーに「Celebration of Individuality」を掲げ、多様な美に寄り添う「パーソナルな事業展開」を展開。また、同年4月にはグループの2つの内外で様々な改善が見られ非常に驚いた」と振り返った。

花王の化粧品事業は、2018年より推進している新成長戦略のもと、約30ブランドを中心に個性ある「強いブランドづくり」を進めている。2021年から事業パートナーに「Celebration of Individuality」を掲げ、多様な美に寄り添う「パーソナルな事業展開」を展開。また、同年4月にはグループの2つの内外で様々な改善が見られ非常に驚いた」と振り返った。

資生堂 日本ユニセフ協会への支援に対し「紺綬褒章」を受章

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会への支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章した。資生堂のグローバルジュニアブランド「クレ・ド・ポーボーテ」による日本ユニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女たちへの教育・エンパワーメントの活動支援に貢献した。

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会への支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章した。資生堂のグローバルジュニアブランド「クレ・ド・ポーボーテ」による日本ユニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女たちへの教育・エンパワーメントの活動支援に貢献した。

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会への支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章した。資生堂のグローバルジュニアブランド「クレ・ド・ポーボーテ」による日本ユニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女たちへの教育・エンパワーメントの活動支援に貢献した。

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会への支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章した。資生堂のグローバルジュニアブランド「クレ・ド・ポーボーテ」による日本ユニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女たちへの教育・エンパワーメントの活動支援に貢献した。

「第5回オンライン企業セミナー」を開催

美・ファイン研究所

ビューティー商品の企画開発・コンサルティングをはじめ、教育やサロンなど幅広い事業を展開する美・ファイン研究所はこのほど、「光と意識を集める美容」をテーマに、第5回オンライン企業セミナーを開催した。



小林氏

小林氏(右)は、77歳を迎え、現役美容研究者として活躍する。創業から67年、美容研究者人生の中で特に学びを得たという、医学と連携したボランテア活動「医・美・心研究」のエピソードを中心に、肌や脳に働きかけ

小林氏は、77歳を迎え、現役美容研究者として活躍する。創業から67年、美容研究者人生の中で特に学びを得たという、医学と連携したボランテア活動「医・美・心研究」のエピソードを中心に、肌や脳に働きかけ

小林氏は、77歳を迎え、現役美容研究者として活躍する。創業から67年、美容研究者人生の中で特に学びを得たという、医学と連携したボランテア活動「医・美・心研究」のエピソードを中心に、肌や脳に働きかけ

小林氏は、77歳を迎え、現役美容研究者として活躍する。創業から67年、美容研究者人生の中で特に学びを得たという、医学と連携したボランテア活動「医・美・心研究」のエピソードを中心に、肌や脳に働きかけ



小林氏は、77歳を迎え、現役美容研究者として活躍する。創業から67年、美容研究者人生の中で特に学びを得たという、医学と連携したボランテア活動「医・美・心研究」のエピソードを中心に、肌や脳に働きかけ

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、堅く禁じられています。本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。